※※2018年2月改訂(第10版) ※2014年8月改訂

排尿障害治療剤

パラプロスト配合カプセル PARAPROST CAPSULES

日本標準商品分類番号	
872519	

承認番号	22100AMX01540
薬価収載	2009年9月
販売開始	1970年5月

貯 法:室温保存 使用期限:外箱に表示の使用期限内に

使用すること。

[組成・性状]

[17100 T-100]	
成分・含量	1 カプセル中L-グルタミン酸265mgL-アラニン100mgグリシン45mg
添加物	ステアリン酸M g
添 加 物 (カプセル本体)	青色 1 号、黄色 4 号(タートラジン)、黄色 5 号、赤色 3 号、ラウリル硫酸 N a 、ゼラチン
剤 形	硬カプセル剤
外形	▼ YD489
色	(ボディ) 帯黄色
	(キャップ) 紅色
識別コード	YD489

「効能・効果」

前立腺肥大に伴う排尿障害、残尿および残尿感、頻尿

「用法・用量]

通常1回2カプセル、1日3回経口投与する。なお、症状により適宜増減する。

[使用上の注意]

1. 副作用

承認時の臨床試験及び市販後の副作用頻度調査において報告された1,119例中、17例(1.52%)に副作用が認められている。主な副作用は胸やけ4例(0.36%)、胃部膨満感4例(0.36%)等の消化器症状であった。(副作用頻度調査終了時)

			0.1~5%未満	0.1%未満
精神神経系		圣系		頭痛
消	化	器	胸やけ、胃部膨満感	胃痛、食思不振、嘔気

2. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量 するなど注意すること。

3. 適用上の注意

薬剤交付時

PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている)

[臨床成績]1)~5)

プラセボとの二重盲検比較試験又はクロスオーバー比較 試験を含む11施設における前立腺肥大症195例を対象とした臨床試験において、症状別有効率(消失又は軽快)は次のとおりであった 1^{1-4} 。

表. 前立腺肥大に伴う諸症状に対する有効率

	有効率(例数)
排 尿 困 難	69% (75/109)
頻 尿	74% (34/46)
残 尿 感	73%(41/56)

また、本剤に含まれる1種又は2種のアミノ酸を対照とした二重盲検比較試験の結果、本剤の有効性が示された⁵。

「薬効薬理」

本剤の薬理作用として神経系に及ぼす作用、抗浮腫作用、 抗炎症作用、代謝改善作用などが類推されているが明確に なっていない。

「有効成分に関する理化学的知見」

(1)L-グルタミン酸

一般名:L-グルタミン酸(L-Glutamic Acid) 化学名:(2S)-2-Aminopentanedioic acid

分子式: C₅H₉NO₄ 分子量: 147.13

構造式:

$$HO_2C$$
 CO_2H NH_2

性 状:白色の結晶又は結晶性の粉末で、わずかに特 異な味と酸味がある。

水に溶けにくく、エタノール(99.5)にほとんど溶けない。

2000年1月4日歌記済に溶けて

2mol/L塩酸試液に溶ける。

(2)L-アラニン

一般名:L-アラニン(L-Alanine)

化学名: (2S)-2-Aminopropanoic acid

分子式: C₃H₇NO₂ 分子量: 89.09

構造式:

$$H_3C$$
 CO_2H NH_2

性 状:白色の結晶又は結晶性の粉末で、味はわずかに甘い。

水又はギ酸に溶けやすく、エタノール(99.5)

にほとんど溶けない。 6mol/L塩酸試液に溶ける。

(3)グリシン

一般名:グリシン(Glycine) 化学名: Aminoacetic acid

分子式: C₂H₅NO₂ 分子量: 75.07

構造式:



性 状:白色の結晶又は結晶性の粉末で、味は甘い。 水又はギ酸に溶けやすく、エタノール(95)に ほとんど溶けない。

[包装]

PTP:100カプセル、500カプセル、1,000カプセル

[主要文献]

1) 西村 保昭他: 泌尿器科紀要, **15**. 127(1969) 2) 山内秀一郎他: 泌尿器科紀要, **14**. 633(1968) 3) 石神 襄次他: 泌尿器科紀要, **15**. 68(1969) 4) 平川 十春他: 新薬と臨床, **18**. 715(1969)

5) 島谷 政佑他: 泌尿器科紀要, 16. 231(1970)

※※[文献請求先]

製造販売元

